

今日の重要事項

電気力線と電場

- 1) 電場は電気力線の各点の接線方向で、向きは電気力線と同じ向き。
- 2) 電場の大きさは電気力線の「混みぐあい」 (=密度) に比例する。
- 3) 電気力線は正電荷から出発し、負電荷で終わる。途中で途切れない。
- 4) 閉じた面を貫いて外に出て行く電気力線の総本数は、面に包み込まれている電荷に比例する。

ガウスの法則 (電場の基本法則: 電気力線と電荷の関係)

$$\left. \begin{aligned} \varepsilon_0 \int_S \mathbf{E}_n dS (\text{閉曲面} S \text{ を貫く電気力線の数}) &= \varepsilon_0 \int \mathbf{E} \cdot n dS = \sum_{(i \in S)} q_i \\ &= q \\ &= \int \rho(\mathbf{r}) dV \end{aligned} \right\} \text{閉曲面} S \text{ の中にある電荷}$$

宿題解答

A) 2個の点電荷 $2q$ 、 $-q$ が図のように点 A、B におかれているとき、以下の値を求めよ。

1) 点 A、B の座標 答え A: $(d/2, 0)$ B: $(-d/2, 0)$

2) 点 A から点 R (x, y) へのベクトル \vec{AR}
 $\vec{AR} = \vec{OR} - \vec{OA} = (x, y) - (d/2, 0) = (x - d/2, y)$

3) 点電荷 $2q$ が点 R (x, y) につくる電場 \mathbf{E}_A

$$\mathbf{E}_A = \frac{2q}{4\pi\varepsilon_0} \frac{\vec{AR}}{|\vec{AR}|^3} = \frac{2q}{4\pi\varepsilon_0} \frac{(x - d/2, y)}{\{(x - d/2)^2 + y^2\}^{3/2}}$$

4) 電荷 $-q$ が点 R (x, y) につくる電場 \mathbf{E}_B
 電荷 $-q$ から点 R (x, y) へのベクトル、 \vec{BR} は、
 $\vec{BR} = \vec{OR} - \vec{OB} = (x, y) - (-d/2, 0) = (x + d/2, y)$

よって電荷 $-q$ が点 R (x, y) につくる電場 \mathbf{E}_B は
$$\mathbf{E}_B = \frac{-q}{4\pi\varepsilon_0} \frac{\vec{BR}}{|\vec{BR}|^3} = \frac{-q}{4\pi\varepsilon_0} \frac{(x + d/2, y)}{\{(x + d/2)^2 + y^2\}^{3/2}}$$

5) $2q$ と $-q$ による点 R (x, y) での電場 $\mathbf{E}_A + \mathbf{E}_B$

$$\mathbf{E}_A + \mathbf{E}_B = \frac{q}{4\pi\varepsilon_0} \left[\frac{2(x - d/2, y)}{\{(x - d/2)^2 + y^2\}^{3/2}} - \frac{(x + d/2, y)}{\{(x + d/2)^2 + y^2\}^{3/2}} \right]$$

B) xy 平面上の中心が原点、半径 r の円周上に、線密度 λ で一様に電荷が分布している。円の中心から h 上方の点 P での電場 \mathbf{E} の大きさは?

1) $\Delta q = \lambda \Delta l$

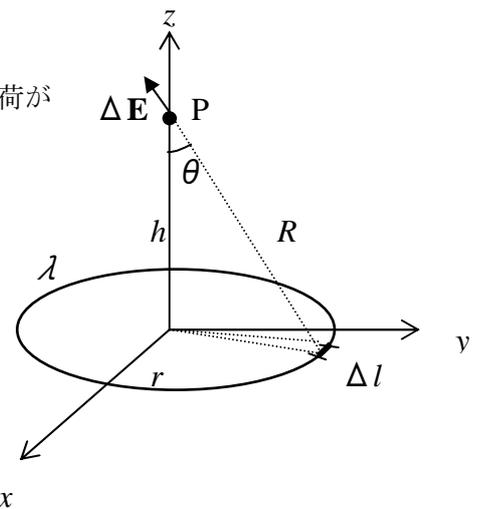
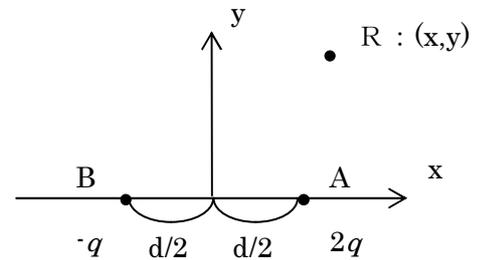
2)
$$\Delta E = \frac{\Delta q}{4\pi\varepsilon_0 R^2} = \frac{\lambda \Delta l}{4\pi\varepsilon_0 R^2}$$

3)
$$\Delta E_z = \Delta E \cos \theta = \frac{\lambda \Delta l}{4\pi\varepsilon_0 R^2} \frac{h}{R}$$

4) 円周上どの点からでも点 P における ΔE_z は一定値。従って、

$$E_z = \int_{\text{円周}} \Delta E_z = \frac{\lambda h}{4\pi\varepsilon_0 R^3} 2\pi r = \frac{\lambda h r}{2\varepsilon_0 (r^2 + h^2)^{3/2}}$$

5) 電場の xy 成分は電荷が対称的に分布しているため、打ち消し合い、ゼロになる。



宿題

原点にある点電荷 q が、距離 r の位置に作る電場 $\mathbf{E}(r)$ をガウスの法則から求めよ。

答えはもちろん $\frac{q}{4\pi\varepsilon_0 r^2}$ 。当たり前だが、きちんと式を書くこと。